



▲乗合タクシー八王子線の発車式・10月1日(左:泉校区公共交通利用促進協議会長あいさつ/右:「いずみ号」出発の合図)



地域の話題

泉校区

安心安全で

住みやすいまちづくり

海と山に恵まれ、自然豊かな泉校区から、「より住みやすいまちづくり」について、お便りが届きました。



などを実施し、校区住民への意識啓発を目的としたアンケート調査や公共交通の啓発・利用促進なども積極的に行いました。



▲名張市への視察

取り組みの成果を形に

これらの取り組みを基に、狭い道路でも運行できる10人乗りジャンボタクシーへの車両変更、福江市街地への運行、渥美病院への直行便(朝1便)の追加などの改善策を打ち出しました。また、前回の利用実績を踏まえ、週7日から5日へ運行日数を減らし、利用者のニーズに合った実施計画案を作成しました。

そして、この計画が、市の公共交通のあり方を考える『田原市地域公共交通会議』で認められ、平成22年10月からの6か月間、『八王子線(いずみ号)』として実証運行を行うこととなりました。

これからも、地域公共交通の必要性を校区全体で認識し、実証運行の利用促進を図るとともに、まちづくり・地域づくりの機運を盛り上げていきたいと考えています。

「宇

津江町」「江比間町」「八王子町」「村松町」「馬伏町」「伊川津町」「石神町」「夕陽が浜」からなる泉校区(旧泉村)では、まちづくり推進計画に基づき、地域特性を生かしながら、「田原市で一番住みやすい校区」を目指し、まちづくりに取り組んでいます。

交通の利便性向上を目指し

校区の大きな課題に、校区住民やお年寄りが日常生活で利用できる移動手段の確保、公共交通空白地帯(公共交通機関が整備されていない区域)の解消があります。平成21年4月には、校区コミュニティ協議会からなる『泉校区公共交通利用促進協

議会』を設立し、市と協働で地域の実情に合った公共交通のあり方を研究・実践しています。

平成20年度には、ぐるりんバスの実証運行を行いました。路線の運行基準に満たない結果に終わり、多くの課題を残しました。

この経験を生かし、「運行内容の再検証」「有識者を地域に招いての勉強会」「各老人会の意見交換会の開催」「先進地への視察」



▲協議会の様子